

課題解決のための諸方策・コンセプト

■ 解決すべき課題（案）

【これまでの議論から見えてきた解決すべき課題】

- 将来世代の財政負担を軽減していくことと、地域に必要な公共サービスを維持・改善していくことを両立していくためには、公共施設の整備と運営をどう効率化していくべきか？
- にぎわい創出や多世代の交流の場づくり、など地域が一体となって活性化して行くために公共施設にどのような役割をもたせていくべきか？
- 使われなくなった庁舎、廃校となる小学校など、施設の役割の変化に対して、その施設を具体的にどう利活用していけばよいか？
-

■ 課題解決の狙い

これまでの議論を通じ見えてきた、課題を解決するための“狙い”を整理してみましょう。

【課題】

【課題解決の狙い】

負担の公平性やバランス



①過度な財政負担が将来世代に残らない

利用しにくい施設や
低未利用の施設がある



②空いた土地や既存の建物の
有効利用、利用率を高める
工夫、利便性向上を図る

子育て支援施設の充実が必要



③子育ての環境を整え地域の
魅力を高める

若者が集う場所、
活動できるスペースが少ない



④若者の居場所をつくり
地域を活性化させる

地域活性化に資する
施設がない



⑤地域のまとまり
一体感を形成する

災害時の避難に
不安がある



⑥災害に強く
安全な地域をつくる



■課題解決のための諸方策

課題解決の狙い	課題解決の諸方策と施設配置の方向性（アイデア）	期待する効果
①過度な財政負担が 将来世代に残らない	複合化・多機能化などで規模（面積）を減らす	維持管理コストが減る 維持管理更新の財源捻出 雇用創出
	利用料などで収入を確保する,コストを削減する	
	商業施設を誘致して収入を得る	
	使われていない空間を共有して稼働を高める	
	統合や移転の結果空いた土地や建物を売却・貸付する	
	・・・	
②空いた土地や既存の 建物の有効利用、利用率 を高める工夫、利便性向 上を図る	空いた建物に不足している機能を誘致する	建物有効利用が図れる 使い勝手の向上 売却の収入や賃借料が 得られる
	複合化によるワンストップサービスを実現する	
	統合や移転の結果空いた土地や建物を売却・貸付する	
	より利便性が高いところへ移転する	
	新規整備に際し、現代のニーズに合った機能を設ける	
	アクセス性の向上（交通利便性の向上）	
	民間活力の導入を図る	
・・・		
③子育ての環境を整え 地域の魅力を高める	子育て支援機能など現在のニーズに合った機能を設ける	子育て世代の人口増加を図る 子育てを地域でサポート 多世代交流が生まれる
	子どもの居場所を確保する	
	多世代交流や地域ぐるみで子育てを支援する機能を設ける	
	・・・	
④若者の居場所を つくり地域を活性化 させる	若者や学生が集まれる、学べる場所を設ける	若者の居場所がある 若者の人口流出を防ぐ
	多世代交流が図れる機能を設ける	
	サテライトキャンパスで若者を呼び込む	
	・・・	
⑤地域のまとまり 一体感を形成する	地域の人々が集まる拠点施設を新設する	市街地の活性化 にぎわいの創出
	施設の配置を集積させ、地域の中心部をつくる	
	各コミュニティ単位で気軽に使える機能を設ける	
	これまで施設がなかった地区に施設を設ける	
	・・・	
⑥災害に強く 安全な地域を つくる	避難所機能を適切に確保する	安心・安全な地域をつくる
	・・・	

【参考】 諸方策を組み合わせるイメージ

